

戦旗

1960年12月20日発行
 発行所
 新宿区東大久保二-155
 世界労働運動研究所
 TEL (GH) 8481
 編集 発行人 橋本 謙
 編集 発行人 橋本 謙

万国の労働者団結せよ
 革命的階級・共産主義者同盟を
 すべての工場に組織せよ
 共産主義者同盟

「民族固定購読」
 中東は
 新宿区東大久保二-155
 世界労働運動研究所
 定価 三〇〇円
 送料別
 月別購読 三〇〇円
 半年別購読 一五〇〇円
 年別購読 三〇〇〇円

新モスクワ宣言と革命的プロレタリアート

改良主義の定式化

フルシチョフ路線の一層の具体化

モスクワ共産党会議の意味するもの

フルシチョフ時代への移行の 確認：新モスクワ宣言

「社会主義体制」の発展は プロレタリア運動の前進になるか

ソ連共産党中央委員会議は十月十七日、モスクワで開かれた。この会議は、ソ連共産党の歴史の中で、最も重要な会議の一つとして、後世に記憶されるであろう。この会議は、フルシチョフの「新モスクワ宣言」を採択し、ソ連共産党の路線を一層具体化し、改良主義の定式化を完了させた。この宣言は、ソ連共産党の「社会主義体制」の発展を、プロレタリア運動の前進と見做し、そのための具体的な政策を打ち出した。これは、フルシチョフの「フルシチョフ路線」の一層の具体化を意味するものである。この宣言は、ソ連共産党の「社会主義体制」の発展を、プロレタリア運動の前進と見做し、そのための具体的な政策を打ち出した。これは、フルシチョフの「フルシチョフ路線」の一層の具体化を意味するものである。

全国最大の農村細胞

日共渥美細胞集団離党 新民主主義研究会として発足

渥美郡の農村細胞は、全国最大の農村細胞として知られている。この細胞は、日共の渥美細胞集団を離党し、新民主主義研究会として発足した。この研究会は、農村細胞の利益を代表し、農村細胞の政治的行動を指導する役割を果たす。この研究会の発足は、農村細胞の政治的成熟を示し、農村細胞の政治的行動の自主性を高めることに貢献する。この研究会は、農村細胞の利益を代表し、農村細胞の政治的行動を指導する役割を果たす。この研究会の発足は、農村細胞の政治的成熟を示し、農村細胞の政治的行動の自主性を高めることに貢献する。

共産党を離党するにあたって

共産党を離党するにあたっては、慎重な判断が必要である。共産党の路線は、農村細胞の利益を代表し、農村細胞の政治的行動を指導する役割を果たす。この研究会の発足は、農村細胞の政治的成熟を示し、農村細胞の政治的行動の自主性を高めることに貢献する。この研究会は、農村細胞の利益を代表し、農村細胞の政治的行動を指導する役割を果たす。この研究会の発足は、農村細胞の政治的成熟を示し、農村細胞の政治的行動の自主性を高めることに貢献する。

モスクワ宣言と 三ヶ年の歴史の教訓は？

モスクワ宣言は、ソ連共産党の歴史の中で、最も重要な宣言の一つとして、後世に記憶されるであろう。この宣言は、ソ連共産党の「社会主義体制」の発展を、プロレタリア運動の前進と見做し、そのための具体的な政策を打ち出した。これは、フルシチョフの「フルシチョフ路線」の一層の具体化を意味するものである。この宣言は、ソ連共産党の「社会主義体制」の発展を、プロレタリア運動の前進と見做し、そのための具体的な政策を打ち出した。これは、フルシチョフの「フルシチョフ路線」の一層の具体化を意味するものである。

自分の意志に関係なく

なぜコンベンターが早くなるか

合理化反対斗争の課題

清川 豊

(一)「合理化粉砕絶対阻止」は革命的スローガンか

「合理化粉砕絶対阻止」は、戦後日本社会の主要なスローガンの一つとして、労働者階級の間で広く受け入れられた。このスローガンの背景には、戦前戦中の「合理化」政策が労働者に与えた深刻な影響があった。戦前、企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

(三)「黄金の六十年」もたらした合理化の本質は?

戦後日本社会の高度成長期は、「黄金の六十年」と呼ばれる。この期間、日本は驚異的な経済成長を遂げ、先進国行列に仲間入りを果たした。この成長の原動力となったのは、企業による徹底的な合理化政策であった。企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

合理化の進行 搾取の強化

合理化の進行は、労働者に対する搾取を強化した。企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

人間性の喪失

合理化の進行は、労働者の人間性を喪失させた。企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

(五)「機械の奴隷の根源は？」

「機械の奴隷の根源は？」という問いは、合理化の本質を問うものである。企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

階級自覚に進む医療労働者

医療労働者は、階級自覚を進むようになった。企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

(二)「合理化の進行」ともてひろまるブルジョア思想

合理化の進行は、ブルジョア思想をひろめた。企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

「失うものは鉄鎖のみ」

「失うものは鉄鎖のみ」という言葉は、労働者の現状を象徴している。企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

「自分の意志」で動かすために

「自分の意志」で動かすために、労働者は団結を築く必要がある。企業は生産性を高めるために、労働者を機械の部品と見做し、徹底的な合理化を進めた。その結果、労働者は長時間労働、過酷な労働環境、そして賃金の抑制を強いられた。戦後も、企業は戦前の合理化政策を踏襲し、さらには高度成長期を契機として、合理化を加速させた。この結果、労働者の生活はますます悪化し、社会的不平等が拡大した。労働者階級は、この状況を打開するために、「合理化粉砕絶対阻止」という革命的なスローガンを掲げた。これは、単に合理化の停止を求めたのではなく、労働者の権利と生活を保護するための闘争の旗印として機能した。このスローガンは、労働者階級の団結を促し、社会変革の原動力となった。

前号記事の訂正
才四十四号「共産党東京で激減」中の表
で誤りがあるので左に訂正します。
共産党五八年五月得票数
票一、六二一、〇二六票
正一、〇二二、〇三六票
以上

安保闘争の遺産

破産した「子通派」
佐久間 元

革命論争資料集
……戦線編集局編……
好評 第二 発売中
最新派の革命的な立場
大衆闘争をすすめて
創刊 戦線編集局
編集 佐久間 元
発行 戦線編集局
〒100 東京都千代田区千代田 1-1-1
電話 03-3233-1111